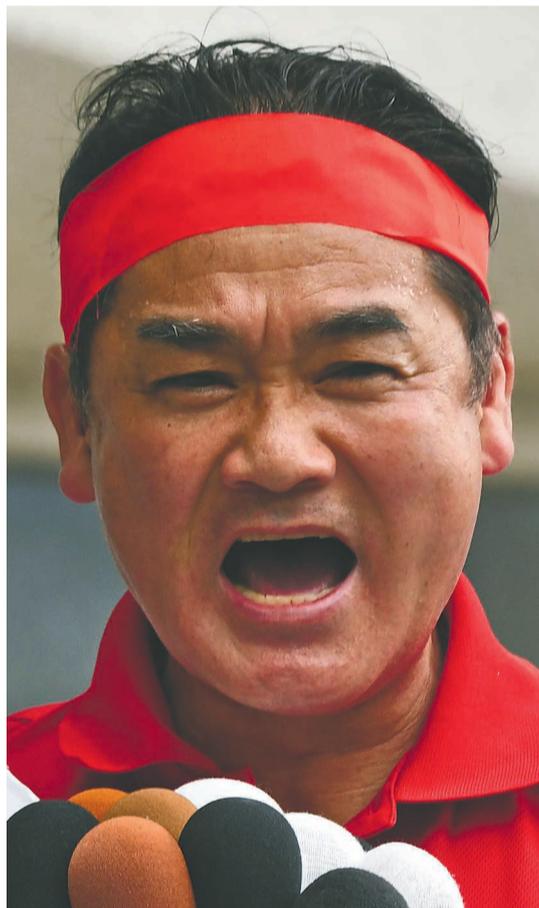


# 佐喜真、玉城氏届け出



第一声を発する玉城デニー候補  
=13日午前10時56分、伊江村の  
城山駐車場



第一声を発する佐喜真淳候補  
=13日午前9時5分、那覇市  
のいとみね会館前

## 県知事選が告示 —事実上の辺野古移設争点に 一騎打ち

翁長雄志知事の在任中の死去に伴い前倒して実施される第13回県知事選が13日告示された。午前11時現在、無所属新人で前宜野湾市長の佐喜真淳氏(54) || 自民、公明、維新、希望推薦 || と、県政与党が推す無所属新人で前衆院議員の玉城デニー氏(58)ら4人が届け出た。選挙戦は両氏による事実上の一騎打ちとなる。知事選は30日に投開票される。

名護市辺野古の新基地建設の是非を最大の争点に、米軍普天間飛行場の返還手法や経済振興、子どもの貧困問題、子育て支援、医療、福祉などを巡って舌戦が繰り広げられる。今回の知事選の結果次第では、新基地建設の行方に大きな影響を与えるのは必至だ。

那覇市牧志のいとみね会館前で出陣式に臨んだ佐喜真氏は「県民の暮らしが大事だ。対立や分断からは何も生まれない。対話を通し県民の思いを伝える。和をもって沖縄をつくっていく」と訴えた。

伊江村の城山(タッチュー)駐車場で出発式に臨んだ玉城氏は「翁長知事の遺志を受け継ぎ、辺野古に新しい基地を造らせない。その遺志を明確にして選挙戦を堂々と戦っていく」と訴えた。

他に立候補したのは無所属新人で琉球料理研究家の渡口初美氏(83)、無所属新人で元IT会社社員の兼島俊氏(40)。

玉城デニー氏(たまき・でにー)  
1959年10月13日生まれ、うるま市出身。上智社会福祉専門学校卒。2002年、沖縄市議に初当選。09年衆院選で初当選した。

佐喜真淳氏(さきま・あつし)  
1964年8月9日生まれ。宜野湾市出身。千葉商科大卒。2001年に市議、06年に県議に初当選。12年の宜野湾市長選で初当選した。